

職場体験 感想文コンクール2024

タイトル	私の未来の姿	事務局	144
学校名	新庄市立新庄中学校	氏名	山川ねいろ

初めての仕事。それまで私は、仕事というのは大人がやるものだと思っていました。

私はもう中学2年生。そろそろ進路を決めないといけない時期です。私は、将来なりたいものが何も思い浮かびません。だから何の仕事を体験してみようかと迷いましたが、まずは自分の性格に合っている所に絞ることにしました。そうして決めたのが、和菓子屋さんでした。

仕事体験の日。あいさつを済ませると、すぐに仕事が始まりました。まずは店内や店回りの掃除をし、その後、商品の袋詰めをやらせてもらいました。お客さんに商品を買ってもらう上で、商品は不十分な状態では渡せないのが鉄則です。さらに深田菓子舗では、すべての作業が手作業で行われていました。一つ一つ確認しながら、何百個もの商品を袋詰めしました。これには「疲れる」の一言しか出てきませんでした。手作業で行うことの大変さを知ることになりました。ですが、すごく疲れる反面、お客さんがお店に来て商品を買ってもらうことが、なぜかとてもうれしく感じました。手作業の分、たくさんの労働があったけれど、お客さんが商品を買いきてくれるだけで「自分が作ったものが誰かに届いてるんだ」と感じ、疲れ以上にやる気をもらえました。

仕事体験2日目では、実際に生菓子を作りました。最初は作るのが難しそうだと思っていたけれど、丁寧に教えてもらい、何回か練習をさせてもらったら、上手に作れるようになったので、「上出来だ」とうれしくなりました。簡単そうに見えて、形にこだわったり、あんこをはみ出さないようにしたりなど、細かな見た目も気にしないといけないので、やっぱりすごく難しかったです。その後は、商品のシール貼りや袋詰め作業に移り、また1日目と同様の作業の繰り返しでしたが、みんなで協力しながらの作業はすごく楽しかったです。

私の仕事のイメージは、「真面目でかたい」ものだったので、仕事体験もそんな想像をしていたけれど、工作中でもコミュニケーションをとる場面が多々あり、全然かたい雰囲気もなく、仕事に対する印象が大きく変わりました。

今回の仕事体験で、私は学んだことが3つあります。

まずは「時間の使い方」です。袋詰めだけでもすごく時間がかかりました。自分のペースで進めていますが、作業途中、従業員さんたちに「じゃあ、これ後10分で終わらせようか」と言われました。私は「終わるかな」とか「仕事が遅かったかな」と思いました。「終わらない」じゃなくて、「終わらせる」という気持ちで頑張りましたが、結局5分オーバーしてしまいました。それが終わっても、またすぐに別の仕事がきました。仕事では、時間の配分が大事なんだなと気づかされました。仕事には終わりがなく、次から次へと新しい仕事がやってきます。仕事にも、宿題のように締め切りがあったのです。宿題には締め切りがあり、計画的に進め、間に合わせないと提出できません。仕事も同じで、仕事にも締め切りがあり、一つのものに時間をかけてしまうと、次にやることも遅れていってしまいます。間に合わせないとお客さんにも迷惑が掛かるので、仕事では時間を意識して、何事もテキパキと取り組むことが大切だと学びました。

そして次に学んだことは「あいさつ」です。これも従業員さんに「接客をしていなくても、あいさつを忘れずにね」と教わりました。お客さんが来店するときの「いらっしゃいませ」やお客さんが荷物を受け取り店から出るとき「ありがとうございました」は、お客さんの見えない裏での作業の時も行うのです。いつもの自分だったら、恥ずかしくて自分からあいさつすることはできないけれど、今回の仕事体験では、自分からあいさつをすることができたと思います。私も買い物でお店に行ったとき、店員さんからあいさつをされてうれしかったことがあります。だから、あいさつはしないよりした方が良く、

するなら元気よくするということを心掛けてしました。私が仕事体験する時間は5時間くらいの、本当に少しの時間にもかかわらず、とても疲れました。その倍以上の仕事をしている従業員さんは、もっと疲れているはずなのに、その疲れを見せないあいさつや接客をされていて、その姿に私は憧れを抱きました。私もこんな大人になりたいと思いました。

3つ目に学んだのは、「言葉づかい」です。いつもの私だと、友達と話すときに「です」「ます」などを使う場面はありません。だから、年の離れた目上の方々と話したら、言葉づかいがぎこちなくなってしまうました。やっぱりここでも「返事をするときは「はい！」っていうのよ」と教わり、意識をしてはみましたが、「OKです」など、変に言葉を使ってしまう、その度に言い直しが多くなってしまいました。会社に入社すれば、自分が一番下の立場になるので、言葉づかいに困らないようにしないとイケないなど、深く感じました。

深田菓子舗では、新庄といえばの名物がたくさん売られています。しかも、いくつかのお店にもそれを配送していました。2日目の最後に、その配送なども一緒に体験させていただき、新庄名物として残っているものは、深田菓子舗のような方々が、ずっと作り続けてくれて、それをいろんなお店に配送し、多くの人の手に届くようにしてくれているおかげなんだと知りました。地域に関わり、地域に貢献している方々がすごいなと感激しました。

こうして2日間の仕事体験はあっという間に終わってしまいました。最初の緊張や不安もなくなるぐらい楽しく充実した仕事体験になり、とても貴重な時間になりました。仕事に対する見方も変わりました。以前の私は、何のために働くのかがわからず、自分の考えをもっていなかったけれど、今は働く中で様々な意味が見つかるから、今は無理に見つけなくていいと考えるようになりました。今回の仕事体験では、商品が売れる姿を見て、がんばってよかったなと感じました。その達成感や喜びが、働くことの力にもなっていた気がします。本当にこの2日間で私は働くことについての大切なことをたくさん学ぶことができました。

ここまで書ききれないことがもっといっぱいありますが、まずは、時間の使い方、あいさつ、言葉づかい、仕事に向かう姿勢、仕事をする上での目標など、従業員さんの姿から学べたことなどの教わったことを大切にしていきたいです。将来、私も深田菓子舗のみなさんのように、仕事にまっすぐな人になりたいと思っています。今まで全然見つからなかった自分の未来の姿が、今回の仕事体験で想像できるようになった気がしました。

しかし、この仕事体験は私にとってのスタートラインです。私の目指す未来像に今から近づいていかなければなりません。だから、私はこれからの生活、特に学校生活で、まずは5分前行動や3分前着席、宿題の提出期限までの取り組みを見直していきたいです。時間についての考えを少し大人に近づけるだけでなく、言葉づかいやあいさつなどもの社会で当たり前でできなければならないこともしっかりと身に付けて、さらに自分自身を成長させていきたいです。